

藤枝市議会

題字：藤枝市立高洲中学校 3年 ^{すずき}鈴木 さくらさん



「涼しさ求めて」(撮影場所：蓮華寺池公園)

寺田 清さん

Vol.
227
ふじえだ市議会だより

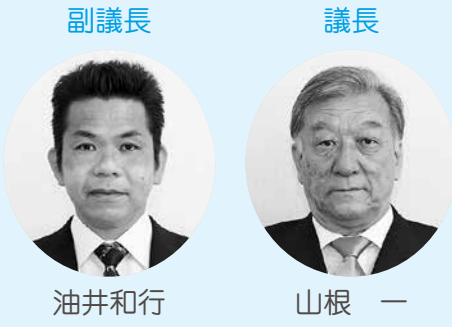
令和5年8月5日

市議会定例会開会議会

市議会役職決定

市議会定例会開会議会が、5月15日に開催され、会期を令和6年4月25日までの347日間としたほか、副議長の選挙後、常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任及び正副委員長の互選、一部事務組合議員の選挙等が行われました。副議長には、油井和行氏が選出され、そのほかの委員会の構成・役職などは次のとおりです。

(以下敬称略)



議長



山根 一

副議長



油井和行

監査委員 深津 寧子

議会運営委員会

議会の円滑な運営のために協議し、意見調整を図ります。

議長 平井 登
副委員長 植田裕明
委員 石井通春・増田克彦
神戸好伸・多田 晃
岡村好男・小林和彦
大石保幸

常任委員会

議案・請願などの審査を行います。

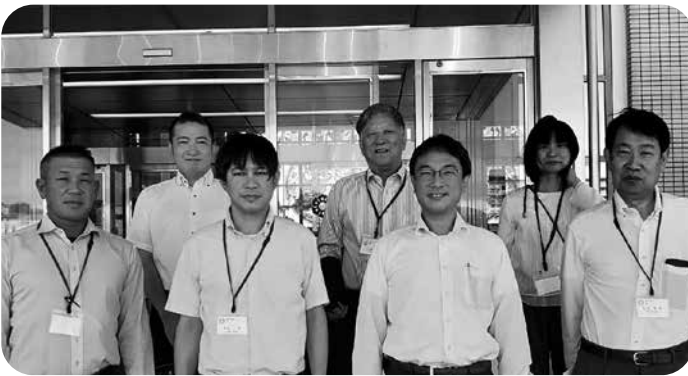
総務委員会、健康福祉教育委員会、建設経済環境委員会に加えて、令和5年度からは予算委員会、決算委員会も常任委員会となりました。



◇**総務委員会**

委員長 神戸好伸
副委員長 藪崎正幸
委員

川島美希子・池田 博
石井通春・平井 登
油井和行・植田裕明



◇**健康福祉教育委員会**

委員長 鈴木岳幸
副委員長 多田 晃
委員

さとつまりこ
八木 勝・大石心平
山根 一・大石保幸



◇**建設経済環境委員会**

委員長 増田克彦
副委員長 山川智己
委員

深津寧子・山本信行
遠藤久仁雄・岡村好男
小林和彦

◇予算常任委員会

委員長 植田裕明
副委員長 山本信行
委員

さとうまりこ・八木 勝

川島美希子・池田 博

大石心平・藪崎正幸

山川智己・深津寧子

石井通春・増田克彦

鈴木岳幸・平井 登

神戸好伸・多田 晃

油井和行・遠藤久仁雄

岡村好男・小林和彦

大石保幸

◇決算常任委員会

委員長 大石保幸
副委員長 遠藤久仁雄
委員

さとうまりこ・川島美希子

池田 博・大石心平

藪崎正幸・鈴木岳幸

平井 登・多田 晃

油井和行

議会改革特別委員会

委員長 岡村好男
副委員長 大石保幸
委員

石井通春・鈴木岳幸

神戸好伸・多田 晃

植田裕明

市議会広報広聴委員会

委員長 川島美希子
副委員長 山本信行
委員

さとうまりこ

大石心平・藪崎正幸

山川智己・平井 登

市議会倫理委員会

委員長 神戸好伸
副委員長 石井通春
委員

増田克彦・多田 晃

油井和行・岡村好男

大石保幸

駿遠学園管理組合議会

議員
鈴木岳幸・多田 晃

志太広域事務組合議会

議員
深津寧子・石井通春
鈴木岳幸・平井 登
油井和行・山根 一
小林和彦・大石保幸

6月定例会月議会で審議された議案

◆出席した全議員が認めた議案◆

議案番号	議案名
第36号	令和5年度藤枝市一般会計補正予算（第3号）
第37号	藤枝市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第38号	藤枝市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
第39号	藤枝市税条例の一部を改正する条例
第41号	藤枝市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第43号	市道路線の廃止について
第44号	市道路線の認定について
第45号～第60号	農業委員会委員の任命について
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議案第7号	特別支援学校・学級への適切な教員等の配置を求める意見書

◆賛否の分かれた議案◆

○賛成 ×反対

議案番号	議員名（議席順） 案件・結果	さとうまりこ	八木	川島美希子	池田	大石	藪崎	山川	深津	石井	増田	鈴木	平井	神戸	多田	油井	山根	山本	遠藤久仁雄	岡村	小林	大石	植田	
			勝	希子	博	心平	正幸	智己	寧子	通春	克彦	岳幸	登	好伸	晃	和行	一	信行	好男	和彦	保幸	裕明		
第40号	藤枝市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
第42号	藤枝市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加われません。

《討論の内容はこちらから》



- ・第40号議案…会議日：令和5年6月28日（本会議最終日）
- ・第42号議案…会議日：令和5年6月5日（本会議初日）

人事案件

次の人事案件について、本議会は、同意・適当と認めました。

◆第45号～第60号議案

農業委員会委員

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| 瀧下 貞一郎さん（本郷） | 臼井 郁夫さん（大洲二） | 岡村 政子さん（瀬戸ノ谷） |
| 池野 知司さん（下之郷） | 大畑 富久さん（岡部町三輪） | 森田ふさ子さん（花倉） |
| 石橋 正敏さん（潮） | 前島 豊 さん（岡部町羽佐間） | 海老名正和さん（鬼島） |
| 西形 彰 さん（立花一） | 熊切 朝男さん（水上） | 山川 智己さん（岡出山一） |
| 村松 節生さん（青南町四） | 田森 喜治さん（大東町） | |
| 松浦久美子さん（大新島） | 上山 優 さん（瀬戸ノ谷） | |

◆諮問第1号

人権擁護委員

- 成滝 隆 さん（谷稲葉）

◆諮問第2号

人権擁護委員

- 嶋尻 喜幸さん（水守）

◆諮問第3号

人権擁護委員

- 田中 敏晴さん（藤枝五）

可決された議員発議

6月定例会議会において、議員提出による発議案（意見書1件）が提出され、原案のとおり可決しましたのでお知らせします。詳細はQRコードからご覧ください。

発議案第7号

特別支援学校・学級への適切な教員等の配置を求める意見書

「概略」

医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもの増加や、様々な障がいのある児童生徒に的確に対応した教育を実現するために、特別支援学校・学級等への適切な教員等の配置に向けて、財政支援を含めた特段の措置を講じることを求めるものです。





藤新会

小林 和彦 議員



- 問** 空き家の件数と管理がなされていない空き家の件数を伺う
- 答** 昨年度末で440件で、管理がなされていない損傷の大きい空き家は13件存在している。

問 空き家条例の効果を伺う

- 答** 放置期間が1年未満の空き家への注意喚起や立入調査などの早期の対応が可能になり、具体的には台風などの風水害による空き家の損壊により、近隣住宅への影響が想定される場合に、所有者や管理者が不明な場合でも、緊急安全措置が実施可能となる。

空き家のおかれていた 現状について

- 問** 管理不全空家として指導勧告することができる本市の考え方について伺う
- 答** 今まで「特定空家」に認定された空き家を対象としていたものが、法改正により、特定空家となる前段階（管理不全空家）においても同様の改善指導・勧告が可能となり空き家解消につながると考える。
- 問** 空き家の発生抑制、適正管理を推進するための空き家の利活用について伺う
- 答** 本市では最大200万円の空き家取得費やリフォーム費用等の補助制度を用意し、移住定住の受け皿として多くの空き家を再生し、移住者を受け入れてきた。

サッカー100周年に向けて

問 サッカー100周年のイベントについて伺う

- 答** 100周年の気運と期待感を高めるため、秋頃より藤枝駅や総合運動公園、蓮華寺池公園などでPR装飾を行い、来年1月27日（土）には総合運動公園サッカー場のバックスタンド完成記念式典を開催し、次世代を担う子ども達がサッカーを学び夢を描けるデジタルブックの制作をする。

問 順心高校と全国の女子高校との試合について

- 答** 順心高校は全国屈指の強豪校であり全国から試合をしたい高校が来て頂けると思われることから、

市内への宿泊、飲食、おみやげ等地域経済の活性化に繋がることが考えられる。

問 サッカーミュージアム構想について伺う

- 答** 静岡県サッカー協会とスルガ銀行が中心で運営していた静岡サッカーミュージアムが閉鎖したため、本市に開設や展示品活用の提案があり、場所を検討する。



公明党

山本 信行 議員



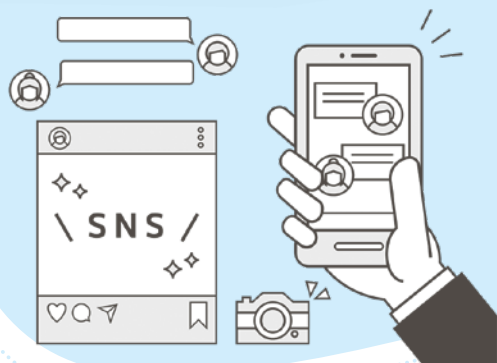
- 問** 上水道、下水道共に区域設定は見直されていくかお考えを伺います。
- 答** 上水道については、上水道利用の意向を地元と確認し

上水道事業について 【安心・安全な社会を目指して!】

ながら、協議し、調査をしたうえで見直しを検討していく。下水道については区域を拡大することは現在のところ考えていない。



本市の地域コミュニティとデジタル化推進について



- 問** デジタル技術を活用した地域コミュニティの再構築について伺います。
- 答** 自治会等の負担を軽減していく上で、デジタル技術の活用は非常に有効である。自治会役員を中心に「ラインワークス」を活用し意見を伺い、地域の実情に合わせた活用方法を地域とともに考えていく。
- 問** 目の不自由な方、お年寄りへの音声通知だけではなく、多言語にも対応している音声コード Uni-Voiceの活用について伺います。
- 答** 通知文書やパンフレットなどの印刷物をはじめ案内表示や看板など、全庁的にあらゆる場面を想定し、その有効性について調査・研究し、準備が整ったものから随時導入していくよう検討していく。



藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員



ハンセン病から学ぶ藤枝市民

問 本年1月に文学館で行われた「村越化石展」は充実した内容であった。化石さんの資料を集めるのは今だと思うが、市の考えを伺う。

答 自筆の句作ノートや賞状・写真アルバムなど、貴重な資料をお借りすることができた。今後も所蔵先との協力・連携を図っていききたい。

問 大勢の元ハンセン病患者の皆さんは、無念にもその存在すら忘れられてしまう。人権を学ぶ上で化石さんの資料は大変貴重なものとなる。藤枝市がさらに資料を集めなければならないと考えるが如何か。

答 病に負けず、力強く生きた化石さんを慕う人たちが、句作ノートなどの資料を大事に保管していることが分かった。今後も信頼関係を築く中で、行く行くは本市に預けていただけるよう働きかけていく。

問 各校で発達段階に応じた指導を行っていていることを評価する。指導に当たる先生方が、十分な教材研究と化石さんの生き方に感動したう

えで、人権について真剣に考えて欲しいと願うが如何か。

答 化石さんの俳句に接する時は、単に言葉で覚えるだけでなく、当時の社会情勢やハンセン病に打ち勝って生き抜いた強い生命力など、多くを学ぶことが必要だ。本市では既に子どもの人権に関するリーフレットを作成し、子どもの人権に配慮した教育を進めるように努めている。情動の心の針が揺さぶられるような、学びでありたい。



64年ぶりの帰郷の折に詠んだ句
「よき里に よき人ら住み 茶が咲けり」



日本共産党
さとうまりこ 議員



瀬戸際の保育園に支援を

問 保育の現場は深刻な人手不足。保育士確保のために支援が必要ではないか。

答 人材確保と離職防止を進めている。「保育士人財バンクenjob藤枝」と、「藤枝市Uターン・地元就職応援プロジェクト」の連携をしていく。

問 保育士が足りないため、入園できない障害児がいる。受け入れを増やすにはどうしていくか。

答 岡部に整備中の保育園を支援の拠点とし、人材育成も進めていく予定。市の補助制度見直しや、小規模保育所にも財政支援を検討する必要がある。発達支援研修をキャリアアップ研修に位置づけ、保育士の給付費加算による処遇改善を後押しする。



保育士が足りない

会計年度任用職員の実態と待遇改善について

問 藤枝市では800人以上の非正規（会計年度任用）職員が働いている。任用には3年限りの制限がある。4年目以降も可能というが、働く人は不安で苦しい。経験も蓄積されない。実際には4年以上勤めている人が多いのなら必要ない制限ではないか。

答 広く募集することが望ましく、3年で公募している。

問 正規より一日15分だけ短い勤務時間で、週5日フルに働いてもパート扱いにされる。正規との賃金格差は倍以上。公務員の義務・仕事への

責任を果たしているのに、なぜこんなに待遇が違うのか。

答 近隣自治体との均衡、業務内容に応じ適切な水準を設定している。

問 非正規の8割が女性。官にジェンダーギャップの原因があるのでないか。

答 正規、会計年度職員ともに同一条件下で待遇に格差はない。公募に男女の区別はない。

問 安心して働けることが人間の幸せにとって必要。3年限限を見直す、フルタイムに切り替えるなど、市として可能な待遇改善を進められたい。

答 国の制度に準拠している。会計年度職員の待遇改善は重要。国や県の動向を注視し待遇改善を図っていく。



藤新会
植田 裕明 議員



市制施行70周年に向けて

問 市制施行70周年に向けての現在の状況は？

答 全市を挙げて一体的に取り組むため、3月28日、自治会や商工会議所・商工会、観光協会、各市民活動団体など、市政に関わる皆様で構成する実行委員会を立ち上げ、周年事業の計画づくりに着手した。「つなぐ藤色物語 未来へのキックオフ」を次の10年、100年に向けた共通のテーマとして、実行委員会に提案した。

問 市民会館のピアノ購入と周年事業の関わりは？

答 平成29年5月に有識者らによるピアノ選定検討委

員会を組織し、機種の検討を進めてきた。今年6月、検討委員会から品質だけでなく、維持管理や導入後の事業連携などの面から、国内メーカーのカワイ製を第一候補とする提言書が提出された。

来年11月に執り行う市制施行70周年記念式典においてお披露目できるよう進めていく。

記念式典では、本市出身の音楽家松谷卓氏に制作をお願いしている市制施行70周年、サッカーのまち100周年の記念楽曲を松谷氏自らの新ピアノの演奏という形で市民の皆様にお披露目し、その音色を多くの市民に届け、市民の心を癒し希望と活力を与える機会としたい。

アフターコロナにおける防災・減災対策

問 今年の総合防災訓練はどのようなものか

答 総合防災訓練の夜間実施についてだが、暗い中での災害はより心理的な恐怖と不安が増すが、こうした中でも落ち着いて、適切な行動が取れるよう、夜間訓練を実施することは、市民の防災力の更なる強化に向けて、不可欠であると考えている。

問 関東大震災から100年に対する考えは？

答 市民の防災に対する意識を改めて高める大きな機会と捉えている。

9月1日に合わせ、広報やSNS、生涯学習センターでの防災展示、出前講座などで、関東大震災の惨状とあわせて南海トラフ地震への備えなど、市民の防災意識の醸成に努め、防災減災行動につなげる。



日本共産党
石井 通春 議員



介護タクシーの復活を

問 田沼で単身車いす生活をされている方から相談を頂いた。市立病院へはこれまで1割負担の介護タクシーで430円だったが、事業者が撤退4

倍の負担となり、通院回数を減らしているという命に関わる問題であった。従来の介護タクシーの利用実績は。

答 令和4年4月～令和5年2月まで、延べ3,377人の利用があった。

問 タクシー業界は人手不足の上、介助作業を必要とする人材を採用してまで事業を実施できる余裕がない。ニーズも高く、介護保険制度のみの考えではなく行政全体の課題として解決すべき問題では。

答 令和5年から「自家用有償旅客輸送」の権限を市が受けている。この仕組みを利用して、介護タクシーに準ずる福祉有償運送などの輸送サービスの構築に取り組む。

行政のデジタル化で市の課題は解決するか

問 デジタル自治体の”パスポート”として導入されたマイナカードは相次ぐ情報漏洩で国民の信頼は地に落ちている。この上、紙の保険証廃止に伴う国保事務、戸籍のフリガナ記載などカードの機能拡大で自治体職員へ過大な負担を強いる。これのどこが「便利な行政運営」「誰一人取り残さない社会」か。

答 新たに様々な業務が想定される。混乱のないように事務を進め、市民への周知支援を行う。

問 「行政のデジタル化」は、8年前、安倍政権が合計特殊出生率の向上、東京一極集中の是正を二大目標として策定した“地方創生”のバージョンアップの

位置づけであるが、現実逆。地方が持つ様々な問題にデジタルが「魔法の杖」の如く解決するように言っているが、手段の一つに過ぎない。

答 地域産業には限界がありICTコンソーシアムなど新たな産業づくりに取り組み人口誘導する。

問 デジタルに関連した施策に国が交付金を出す仕組みは、住民自ら考える地方自治の原点がない。GIGAスクール(国費で小中学校全生徒にタブレット支給)は、学力向上、教員多忙化解消を目的とされたが、これも事実は逆。教育現場から出されたものではないのが原因ではないか。

答 デジタルが全てを解決するとは考えていない。



一旦停止し、システムの総点検を



藤のまち未来
増田 克彦 議員



健康・予防日本一への取り組みについて

問 「第2期元気ふじえだ健やかプラン」の目標未達成3項目の第3期における進捗は？

答 糖尿病有病者割合は県内市町2番目の低さ。歯周炎率は62%で減少している。高血圧率は県平均より悪く、本市唯一の健康課題である。

問 高血圧に対する取り組み「効果適塩」とは？

答 働き盛り世代を対象に、尿検査等で「一日あたりの推定食塩摂取量」を測定し、食塩摂取量を見える化して、減塩に対する意識を高める。

問 ふじえだ健康マイレージの普及状況とその効果は？

答 令和5年4月末現在、達成者延べ4,202人。健康によい生活習慣に主体的に取り組み、健康について意識を高める効果あり。

問 市立総合病院に導入された「ダビンチ」及び「ラピッドレスポンスカー」の稼働状況は？

答 ダビンチ令和4年度実績：呼吸器外科・肺がん16件、肺の縦隔腫瘍6件 / 泌尿器科・前立腺

がん24件 ⇒合計46件
ラピッドレスポンスカー令和4年度実績：出勤件数は415件、うち当院への搬送248件。1か月当たりの出勤件数は約35件。



ふじえだ健康スポット20選 健康ウォーキングMAP



藤新会
山川 智己 議員



藤枝市立総合病院の運営や医療体制等について

問 医療従事者等の人材確保と病院への定着における現状と課題について伺う。

答 医師については、各診療科で充足が進み、特に救急や新設されたセンターにおいて充実が図られた。看護師については、特定行為看護師の資格取得制度を創設し、人材確保に努めている。

一方で、薬剤師については、病院薬剤師の確保が難しい状況にあることから、本市独自の修学資金制度について来年度（令和6年度）から再開し、貸付金額を月10万円に拡充して支援するということで、今後薬剤師の確保を図っていく。

問 本年3月1日付けで志太榛原医療圏初の指定を受けた「がんゲノム医療連携病院」としての現状と今後の課題について伺う。

答 遺伝子の異常を調べるがん遺伝子パネル検査が可能となり、患者本人に一番適した治療薬の選定を行うなどの最先端の検査を提供できることになる。今後は指定継続に向け、検査対応フローの確立とともに、臨床遺伝専門医やがんゲノム医療コーディネーターの人材育成も強化していく、がんゲノム医療中核拠点病院である県立静

問 岡がんセンターと連携し、本医療を推進していく。新型コロナウイルス感染症の5類移行後の対応や、感染症対策の取り組みについて伺う。

答 5類移行後も、重点医療機関としてこれまで同様、重度の患者を中心に入院受け入れを行っている。また、制限していた面会については、原則ご家族または主治医の許可など、条件付きで再開している。

感染症対策としては、感染管理室に配置している専従の2名の感染管理認定看護師を中心に感染対策チームを整備し対策に当たっている。

問 コロナ禍で問題となった各種の受診控え・検診控えは、現在どのような状況か。

答 外来受診はコロナ以前より増加、がんを含む検診についてはコロナ以前並みだが、健康診断事業では昨年度のキャンペーンにより増加しているものもある。病気の早期発見のため検診を重点施策とし、好評を博したキャンペーンの継続を今年も検討していく。



病院薬剤師による丁寧な説明



藤のまち未来

岡村 好男 議員



問 本市の昨年度の自然減の死亡者数と推移を伺う。

答 昨年の本市の死亡者数は約1,700名で、年平均で3%強の増加でとなり、その推移

は国全体のペースと同じ状況にあります。

問 本市の土地の高騰によって、近年市境の六合地区や西焼津地区の宅地開発が活発化し社会減の要因となるが、その対策について伺う。

答 六合駅に近接する末広、青島地区、又西焼津駅に近い築地、高柳地区等への住宅誘導を含めた土地利用の在り方について検討をしていきます。

問 低廉な宅地開発には、市街化調整区域の農地転用が必要です。青島、高洲地区の開発許可制度の適用について伺う。

答 本年度、青島、高洲地区の市街化区域に隣接した、市街化調整区域において条例制定による宅地化が可能か、対象となる区域の土地利用等の調査に着手し、次年度以降に実施の可否を含め検討します。

問 多くの市民が求めた優良田園住宅の、拡大について伺う。

答 大洲地区の優良田園住宅の宅地分譲が進み、堀之内や上藪田など利便性の高い地域で新たな優良田園住宅での宅地分譲を模索する動きも出ており、ニーズや新規分譲地の販売状況などを注視しながらエリア拡大の検討を進めていきます。

人口減少社会にどう対応するか！ 【岡部町内谷地区を新工業用地候補地に】

問 昨年度の移住者数県内482人、県外109人の評価と、拡大策を伺う。

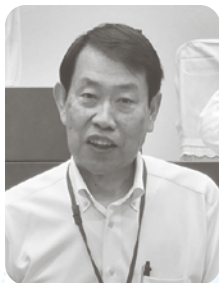
答 子育て世代の移住の経済的支援が県下でトップクラスであり、高い評価をされており、更なる拡大が期待される。又県外移住者数相談件数は、昨年1,073件で県内3位であり、首都圏在住の若者世代に向け、宿泊型移住体験プログラムを実施し移住拡大を図ります。

問 人口減少対策として、高田工業団地に続く新たな企業誘致に向けた取組が喫緊の課題であるがその状況について伺う。

答 本市に進出意向のある企業からの引き合いは、依然として強くあります。この状況下で現在は、交通アクセスの優れた岡部町内谷の約5.4haの土地を、工業用地の候補地として、検討を進めております。

問 人口減少対策としての、本市の少子化対策について伺う。

答 まず何よりも必要なことは社会全体で、子どもを育てる環境であります。本市は県内他市町に先駆けて「こども家庭センター」を開設し、途切れのない包括支援を行い、さらに本年度「こども基本条例」を制定します。



公明党

大石 保幸 議員



問 環境教育の取組みとして実施されてきた市内高校生の代表によるハワイ州への研修はコロナ禍で実施できなくなっているが「環境人材」の育成に

大きく貢献してきていた。今後の方向性を伺う。

答 地元企業様の多大なるご支援をいただき、大きな成果を上げてきた事業でもあり、再度、企業のご理解とご協力を得ながら、来年度以降でのハワイ研修の再開に向けて準備を進めていきたい。

環境行動都市への取組み

問 環境に取組む行動を見える化するとともに楽しんで行動していただける、ごみ拾い共有アプリ「ピリカ」が注目されている。この導入についてはどのように考えるか？また「ごみ拾いはスポーツだ！」を相言葉に本年11月にはワールドカップが開催される「スポGOMI」の実施についても提案したい。

答 「ピリカ」は環境に対する意識を高め、人材育成にもつながることから本市のホームページに掲載しているが、今後はさらに推奨するため広報ふじえだなどを活用し、啓発活動に取組んでいきたい。

いる場合もあり、HPVワクチンの男性への接種を求めたいが所見を伺う。

答 HPVは、男性にも感染する身近なウイルスであり、中咽頭がんや肛門がんなどの原因となることから、男性がワクチンを接種することにより、それらの病気を予防することが出来る。男性自身のがんリスクを軽減するとともに、大切なパートナーを病気から守ることにもなることから男性へのワクチン接種の必要性の周知と公費助成に向けた制度設計を行っていく。



健康・予防(子宮頸がん)への取組み

問 8年余り推進されて来なかったが、令和4年4月から子宮頸がん予防ワクチン【ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン】の積極的な接種勧奨が再開されたので、再開後の接種率について伺う。

答 令和4年度中に接種完了となる3回目までを終了している人の割合は、県が5.8%、藤枝市は3.9%。また、接種の機会を逃した方のキャッチアップ接種では、県が3.6%、市は2.4%という結果であった。

問 子宮頸がんを罹患する原因の中には男性が起因して



藤新会
大石 心平 議員



本市におけるディスポーザ設置補助の状況について

問 ディスポーザ設置率及び設置補助事業の利用状況について伺う。

答 設置率は昨年度末時点で公共下水道利用世帯24,624世帯のうち173世帯で0.7%、補助事業の利用累計は29件である。

問 ディスポーザ設置について二次的補助の考えはあるか伺う。

答 交換が必要になった場合に利用を継続して頂けるよう、補助制度対応の検討をしていく。

問 補助事業の交付額を一律10万円とする事は可能か伺う。

答 検討していきたい。



市内に設置された多機能カーブミラーについて

問 近隣市民の反応はいかがか伺う。

答 悪天候等の暗い時に光で注意喚起する事により以前に比べて車両が減速や一時停止するようになり安心感が増したといった声が寄せられている。

問 多機能カーブミラーは高額ではないか。

答 官民の共同開発であって、単に商品として販売されているものではなく、開発から設置までの金額であり、今後の集積されたデータを分析した上で交通事故防止対策に活かすといった効果を考えれば必要な経費であると捉えている。この事業については国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用している。



藤新会
藪崎 正幸 議員



市内主要道路の渋滞の解消に向けた取り組みについて

問 市内主要道路の渋滞の解消に向けた取り組みは？

答 東西では国道1号バイパス旧国道1号等、また南北では田沼街道、駅西側高架を通る216号、西高橋から大井川に向かう215号等、あらゆる主要道路が渋滞しています。これらの渋滞緩和のために、国道1号バイパスの4車線化、志太中央幹線 小川島田幹線などの早期整備を国や県と協議、調整を行っています。

問 それでは前述道路の当初計画と現在の状況また完成予定などは？

答 国道1号バイパスは昨年末に潮トンネルの着工

が始まりましたが、全線完成及び一部完成年度は未定です。

小川島田幹線は焼津市藤枝市島田市と3市をまたぐ昭和40年に計画した道路です。現在島田、焼津側はある程度できているのに対し藤枝部分は遅れています。完成予定は未定です。

志太中央幹線は昭和48年に計画した道路です。本年3月に左車工区の0.5kmが供用開始しました。完成年度は未定です。

問 渋滞緩和のために新東名藤枝PAのスマートIC化はいかがか？

答 こちらは一つの渋滞解消の策とは考えている。周辺住民と協議していく。

藤枝市のデジタル化について

問 2月一般質問でもしたがその後所内のデジタル化は早まったか？

答 令和5、6年で検討等をし令和7年度中からのシステム運用は変わらない。ただ、RPAやチャットGPT、ラインワークスなどを活用し、できるところは職員の研修を含め随時始めている。



藤のまち未来

平井 登 議員



問 20日号を民間委託による新聞折り込み、ポスティングにしたことで以前に比べ、いくら経費が増えたか何う。

答 約218万円の増額である。

問 民間委託の配布方法について、自治会町内会役員や市民から寄せられた意見等を何う。

答 「すべて委託にして欲しい」、「各戸配布は、地域の見守りや安否確認などを兼ねている」。また、市民からは「新聞と一緒に朝一番で届きうれしい」、「以前より短期間で届くようになった」などの意見が寄せられている。

問 新聞販売店の長い歴史で培われた住民との信頼関係や、見守り・声掛けの協定に加わるなど、自治会町内会を補完する役割を果たしていると考え。地域活動の多様化で多忙な自治会町内会の役務負担軽減と合わせ、迅速・確実な配布、見守り・防犯等の機能を考慮すれば、コストパフォーマンスに優れていると思う。今後は5日号も新聞販売店に委託されらうか。

答 両号とも委託する場合、再度自治会町内会役員や事業者との協議が必要となるので場を設ける。

問 月2回の発行による時宜を得た情報内容や、市民に届くまでの工程管理が優れていると評価するが、庁内の情報収集及び編集体制、そして印刷業者、自治会、配布委託業者との連携状況を何う。

「広報ふじえだ」配布方法の変更を検証する

答 各部局に広報監を置き戦略的な情報発信の体制を強化。市民誰もが見やすく読みやすい広報紙に向け各部課の広報委員から最新情報を収集・集約している。印刷から納品、配布までの工程管理を印刷業者、自治会、配布委託業者が共有している。時宜を捉えた市政の動きや市民が親しみ、役に立つ広報紙を市内各世帯に届けることで市政への理解と参画を深めることにつながっている。

問 先進的な取組事例として、民間の地域密着型情報誌と行政の広報紙が一体化したマガジンを発行している自治体が多くある。幅広い世代に読まれることで、地域交流と地域経済の活性化が図れるとともに、歳出削減にも寄与するからである。広告料や掲載料が原資となる仕組みであるが、当局、新聞販売店、印刷業者等で研究していただきたいが何う。

答 多くの市民が手に取り目を通すことは市政等を知ってもらう上で有効な手段である。民間情報誌と一体化させる経費等も含め研究していく。



藤のまち未来

川島美希子 議員



問 地域計画（人・農地プラン）の進捗状況

答 モデル地区において10年後の農地利用を地図化し地域で意見交換会を開催した。今後は、

中心的な担い手などへの集積・集約化を図り、令和6年度末を目途に目標地図を策定し市HPで公表する。

問 山間地を抱える地域についてはどのようにお考えか。

答 茶園及び樹園地については、基盤整備などを行い、作業効率上がるように整備をすすめる。維持が困難な土地は農地以外の区域として保全など棲み分けをする。

問 草刈りマッチングに加え新規就農者などへの農機具や技術支援マッチングもできないか。

答 農機具や技術などの情報を収集し、データ管理してマッチングする。

問 蓮華寺池の「とんがりぼう」ではおむすびを前面に売り、お茶がマグカップで出てくるが、お茶の文化の継承の場ではないのか。

答 藤枝茶が前面に出る工夫をし、茶文化をしっかりと発信していく。

問 小、中学校給食は地元の農業にとり大きな市場ではないか。

藤枝市が目指す農業の将来像

答 分割発注、下処理を行う機器を入れて規格外野菜も仕入れる仕組みを作り、農業を守り持続可能としていく事を産業振興部等と協議していく。

問 藤枝市が目指す農業の将来像や計画を何う。

答 地域計画において、将来、自分たちの地域を耕作するための農地として残すか、担い手がいない農地を任せるかなど、地域でコンセンサスを取得成果につなげ、地域からの意向は国に伝えていく。また、新規就農者への支援や農業法人誘致、スマート農業などの新技術導入、さらにはオーガニックピレッジの推進については、大変重要な施策である。今後は、農地・農村を守り、安心安全な食の確保に向けて、農業者に光を当てて取り組むべきと考える。



「農地所有者へのアンケート結果を反映した地図」



藤のまち未来
八木 勝 議員



“幸せになるまち”藤枝づくりに向けて 本市の健康経営のあり方について

問 本市における健康経営の考え方について。

答 市民の皆様の健康こそがまちの活力の源であるとの考えから、“守る健康”と“創る健康”の両輪で、健康づくりを推進。
特に市民の皆様が多くの時間を過ごす職場において従業員の健康増進を図ることは、従業員が無理なく前向きに健康づくりに取り組めるとともに、企業価値の向上に大変効果的であるため、健康・予防施策の要として、藤枝商工会議所・岡部町商工会と二人三脚で進めている。藤枝市勤労者福祉サービスセンターが行う人間ドックの助成などの支援や、従業員の労働環境改善に取り組む中小企業への支援など、多面的に市内企業をサポート。市内企業や団体に健康経営実践プログラムを提供し、成果を挙げている。本年度から“日本一働きやすい職場環境づくり”を全市的に進めるた

め、認定制度を創設し、産学官金挙げて支援する取組をスタートさせ、働き盛り世代の健康増進を図る。

問 働きやすい職場環境づくりの認定制度とは、どんな制度が概要と進め方を問う。

答 この制度は、「多様な人材の活躍」などに積極的に取り組む市内企業を認定し、企業における人材確保のほか、信用やイメージ向上を後押しする本市独自の制度であり、本年7月からの開始を予定している。この制度に認定された企業は、男性従業員が育休を取得した際に、市が交付する奨励金の交付回数の上乗せ、更には、企業の取組を市がPR支援するなどの特典を用意している。今後、藤枝商工会議所や岡部商工会等と連携して本制度の周知を図るとともに、昨年度設置した産学官金の関係者で構成する「日本一働きやすい職場環境づくり会議」等の意見も伺いながら多くの企業の認定に繋げていく。



藤のまち未来
鈴木 岳幸 議員



物価高騰対策について

問 物価高騰により市民の生活に悪影響が出ているが、消費生活支援のためにペイペイのポイントバックやアナ

ログ形式としてプレミアム商品券の発行を行うことはできないか。

答 過去のペイペイのポイントバックは全て国の財源を活用した。充当可能な財源を模索し実施に向けて検討する。プレミアム商品券は他市で実施している為、費用対効果も含め可能性を検討する。

職員の働き方改革について

問 時間外勤務を減らし、有給休暇取得を増やす方策はどう行うか。

答 ここ数年コロナや災害への対応により時間外勤務が増えている。様々な市民ニーズがあり業務量は増加見込みだが、業務効率化を図り時間外の縮減に努める。有給休暇の取得目標を市職員は10日以上としているが、管理職が率先して

取得し皆が取得しやすい環境づくりを進め、職場内の調整を図り目標を達成できるよう努めていく。

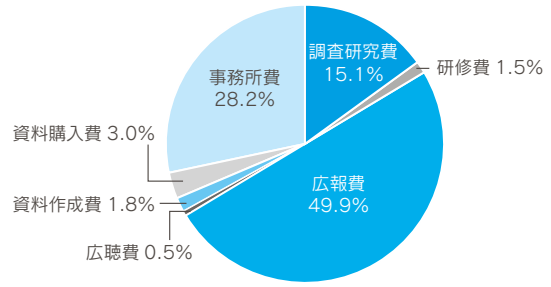


令和4年度 政務活動費

令和4年度政務活動費はこのように使われました。

政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき条例で定められており、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派及び会派に所属しない議員に対し交付される費用です。藤枝市議会の政務活動費は、1人あたり年額300,000円であり、一括して年度当初に各会派（または議員）に交付され、支出に要した経費を控除して残余がある場合は市に返還しています。

令和4年度政務活動費内訳(全体)



令和4年度5月～3月 政務活動費科目別支出内訳(令和4年4月改選、5月からの11か月分)

(単位:円)

	藤新会	藤のまち未来	日本共産党	公明党	池田博議員	計
交付額	2,750,000	1,925,000	550,000	550,000	275,000	6,050,000
支出内訳						
調査研究費	347,820	490,422				838,242
研修費		70,000	15,000			85,000
広報費	1,233,719	985,820	291,998		55,000	2,566,537
広聴費			17,260			17,260
要請・陳情活動費						0
会議費						0
資料作成費		56,180	30,990	9,300	900	97,370
資料購入費	51,150		15,274	52,360	10,230	129,014
人件費						0
事務所費	845,544	338,079	131,955	142,861	19,998	1,478,437
小計	2,478,233	1,940,501	502,477	204,521	86,128	5,211,860
返納額	271,767	0	47,523	345,479	188,872	853,641
実績交付額	2,478,233	1,925,000	502,477	204,521	86,128	5,196,359

※令和4年度 4月分の政務活動費の内訳はこちらからご覧ください。



表紙の写真・イラスト等募集!

テーマ「〇〇の秋」

市議会では、年4回(6月・8月・11月・2月)ふじえだ市議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真・イラストを募集します。※〇〇に自由に入れて下さい。2文字でなくても大丈夫です。

●募集する写真・イラスト等

- 写真の場合…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

●応募方法

住所・氏名(フリガナ)・電話番号・写真の場合(撮影場所・撮影日時・タイトルを記入の上)、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

●応募上の条件

- 写真の場合…市内で撮影されたもの。
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等
- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人(未成年者の場合は保護者)又は、所有者の承諾を得てください。
- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

●選考方法

市議会広報広聴委員会で決定し、掲載します。

●応募の締め切り

11月5日号掲載の締切
⇒令和5年9月7日(木)

※詳細については、藤枝市議会ホームページをご覧ください、議会事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ

藤枝市議会事務局(市議会広報広聴委員会)
住所: 〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1
電話: 054-643-3552
メール: gikai@city.fujieda.shizuoka.jp



常任委員会審査レポート

ピックアップ!

健康福祉教育委員会

第36号議案
令和5年度藤枝市一般会計補正予算(第3号)



園児送迎バス安全対策事業費補助金 525,000円

市内の認定子ども園及び幼稚園の園児送迎バスに置き去りを防ぐ安全装置を設置するための費用補助です。
今年度、2園のバス3台に設置することで、すべての送迎バスに設置される予定となっています。安全な保育を継続するために必要な補正予算と判断し、委員会としても可決すべきものと決定しました。



総務委員会

第36号議案
令和5年度藤枝市一般会計補正予算(第3号)



市公式LINEの機能強化 3,485万円

総務委員会に付託された内容は主としてデジタル活用による、市民生活の利便性の向上に関するものでした。その中でも委員会の中で複数の委員から質疑のあった「市公式LINEの機能強化」についてのポイントは次のとおりでした。

1つ目は、市公式LINEのトップページを変更し、知りたい情報に簡単にアクセスできるよう、メニューボタンを増設し、画面上の構成をわかりやすく使いやすい形にするものでした。2つ目はLINE登録者へのプッシュ通知機能の強化は登録者の属性に応じて、行政サービスや情報の提供をプッシュ型で通知できる機能を追加するものでした。各種検診や予防接種、児童手当など順次拡大予定とのことです。

LINEは多くの市民が利用しており、その機能が強化されることは市民の利便性の向上に直結することから委員会として、可決すべきものと決定しました。

市公式LINEの機能強化(イメージ)

現在のメニューボタン(6種)

1つのボタンの中に複数の分野があり、利用者に分かりやすく、使いづらい

各課のアプリへの案内、質問への回答などができない

ボタンを増設、自動応答や予約機能を追加。各種アプリへの誘導も含め、利用者がLINEをミニ市役所として活用

観望市			観望市			観望市		
暮らし情報	魅力発信	防災情報	暮らし情報	魅力発信	防災情報	暮らし情報	魅力発信	防災情報
観望市ホームページ	広報紙	観望市観光	観光情報	イベント	観望市観光	気象情報	避難所	防災情報
子育てタウン	ゴミの捨て方	窓口予約	歴史・文化	イベント	移住	ハザードマップ	コロナ情報	ワクチン接種
健康相談 HELPO	電子申請	受信設定	ふるさと納税	名産品	受信設定	水位観測システム	観望市防災アプリ	受信設定

※自動応答は「ゴミの捨て方」等を予定。
※本機能の導入により、お知らせサービスとの連携が可能に。

建設経済環境委員会

現地調査

①市道8地区168号線橋梁災害復旧事業

②林道大樽線災害復旧事業

昨年の台風15号により被害を受けた市道8地区168号線橋梁（押越橋）と、林道大樽線の現状について現地調査を行いました。

それぞれ担当課から、工事の進捗状況や、復旧に向けたスケジュールについての説明を受けました。



①市道8地区168号線橋梁（押越橋）現地調査の様子 ②林道大樽線現地調査の様子

副議長と広報広聴委員による「静岡産業大学 冠講座」を開催！ ～議員と大学生がグループワークで率直な意見を交わしました～

市では毎年、包括連携協定を結ぶ静岡産業大学において、学生や市民に市政への理解と参画を進めることを目的に、職員等が講師を務める冠講座を開講しています。講座全14回の13回目となる7月10日（月）に、議員が講師を務め、副議長の基調講話のほか、「藤枝市に定住するためには」「『サッカーのまち藤枝』に磨きをかけるためには」「みらいの藤枝市をどういうまちにしたいか」「人口減少対策を考える」の4つのテーマでグループワークを行い、大学生と議員との活発な意見が交わされました。藤枝市の未来に向けた貴重な意見を出していただきました。



応募イラスト・写真コーナー

テーマ「涼」



「一粒の清涼感」
(撮影場所：岡部町青羽根)
撮影：小長谷 充朗さん



「遊びもひとやすみ」
浅原 久代さん



「我が家の花手水 (はなちょうず)」
(撮影場所：自宅庭)
撮影：浅野 直美さん

9 月市議会定例月議会

9月定例月議会は、9月1日から10月2日までの32日間で開かれる予定です。

9月1日 本会議1日目※ 議案上程等	13日 常任委員会
7日 本会議2日目※ 一般質問	15日 決算常任委員会
8日 本会議3日目※ 一般質問	19日 決算常任委員会
11日 本会議4日目※ 一般質問・議案質疑等	20日 決算常任委員会
12日 現地審査	21日 決算常任委員会
	10月2日 本会議5日目・採決等※



※藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。http://fujieda.gijiroku.com/g07_Nittei_Month.asp

Facebook 「藤枝市議会」で 議会活動情報を 随時更新しています

藤枝市議会では、ホームページ、市議会だよりに加え、議会の情報発信を強化し、より多くの方に議会への関心をもっていただくために、随時投稿しています。ぜひ、ご覧ください。

https://www.facebook.com/fujiedashigikai/?locale=ja_JP



議会は 藤枝市議会 ホームページでも ご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。



議会を 傍聴しませんか



市民の生活に直結した重要な問題が審議されます。

議会は、どなたでも傍聴することができます。お気軽にお越しください。市役所5階の傍聴受付で傍聴券を受けとれば、傍聴できます。住所、氏名などの記入は、不要です。

問い合わせ【議会事務局】 ☎643-3552

【編集・発行】藤枝市議会（藤枝市岡出山一丁目11番1号）
☎054-643-3552 FAX054-646-2030
E-mail gikai@city.fujieda.shizuoka.jp
URL https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/

